

三谷川の水害対策について

提案内容	<p>9月議会一般質問の中でこのたびの豪雨災害についての質問が多数ありました。その中で三刀屋町の三谷川に関わる災害にしばって提言します。</p> <p>ラジオでは近い将来梅雨のない北海道も雨が多くなるといっていました。ことほど左様に異常気象は異常ではなくあたりまえになるようであります。だとすればポンプ能力向上、台数の増加は所詮解決に至らないと思います。私は次の二刀流を提案します。</p> <ol style="list-style-type: none">1.三谷山地から流れる水は市街地に至る前にこれを遮断、河川橋（現三谷川河川上空架設）で、国道54号、三刀屋川堤防を跨ぎ三刀屋川への放流2. 河川橋流入口以降、平坦地の降雨は現三谷川に負わせポンプ排水していく。 <p>※1.については全国に例があるのか調査し研究する。三谷川のような状況になるのは全国にいくつもあると思われます。奇抜と思われるかもしれないが、要検討ください。この1、2併用策で対処されない限り、三谷川問題は解決致しません。</p>
回答	<p>この度は貴重なご提案を頂戴し、ありがとうございます。</p> <p>7月の豪雨災害につきましては、地域自主組織や自治会の皆様には避難所の運営や被災者への支援、地域の被害状況の把握など多大なるご協力を賜りました。また応急復旧作業にあたりましては消防団、建設事業者、災害救援ボランティアの皆様など多方面の皆様から多くのご支援を賜りましたことに対し、心から感謝を申し上げます。</p> <p>さて、令和3年7月豪雨では市内で多くの災害が発生し、ご提案頂いた三谷川周辺でも冠水など多大な被害が発生したところです。今回の浸水被害につきましては、2時間余りで約200mmの降雨が三刀屋川の流域に集中して降ったことにより、三刀屋川や三谷川の水位が急激に上昇したことに起因する冠水であったと考えております。</p> <p>雲南市としましては、この7月豪雨災害全体の検証を行い、その中で三谷川を含む三刀屋川流域の水害対策についても島根県とともに検証を行うこととしています。この度、貴方様から頂いた貴重なご提案も参考にさせて頂き、検証結果をまとめていく考えでありますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">（回答部署：三刀屋総合センター自治振興課、建設部都市計画課、防災部防災安全課）</p>